

令和4年度 大田区立洗足池小学校 学校経営方針（概要）

おおた教育ビジョン「豊かな人間性をはぐくみ、未来を創る力を育てる」

【めざす学校像】

- 「よりよい学校教育がよりよい社会を創る」という理念の実現を目指す学校
- 常に改革の意識をもち、直面する課題を正面から受け止め、課題解決に邁進する熱意にあふれた学校

【本校の教育目標】

- ◎考える子
- 思いやる子
- 元気な子
- ◎やりぬく子

【めざす児童像】

- 自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができる児童

【教育目標実現に向けた学校経営の視点と関連する教育目標】

【視点① 学級経営の充実】

だれにでも居心地のよい学級集団作りが学校生活の基盤となり、質の高い学習や学校行事が実現する。そのため学級担任だけでなく、学校組織を挙げて学級経営の充実を図る。

「考える子」「思いやる子」「やりぬく子」

【視点② 個別最適な学びの実現】

カリキュラム・マネジメントの充実を図るとともに、指導方法や指導体制の工夫改善により、「主体的・対話的で深い学び」の実現を図り、「個に応じた指導」を推進する。

「考える子」「元気な子」

【視点③ 組織的な健全育成】

いじめや不登校など多様化する児童の健全育成上の課題に対する理解を深め、学校全体で改善を図り、多様な他者を尊重する意識を醸成し、より高い人権感覚を身に付けさせる。

「思いやる子」「元気な子」「やりぬく子」

【視点①に対する取組】

- ✓ 学級目標を年度初めに設定し、キャリア・パスポートで学期毎に振り返りを実施します。
- ✓ 3年生以上は年2回 QU を実施し、結果をもとに学級集団作りの手立てを学年ごとに検討し、学級経営の充実を図ります。
- ✓ 専科教員を低・中・高学年に一人ずつ配置し、学級経営のフォローをします。
- ✓ 学校生活全般を通して、児童一人一人に役割を任せ、活躍の場を意図的に作ります。

【視点②に対する取組】

- ✓ 「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指し、他教科との関連をはかりながら総合的な学習の時間を中心に、自身の課題を解決する機会の充実を図ります。
- ✓ 算数では全学年習熟度別少人数指導を行い、学習状況に応じた指導を徹底します。
- ✓ 指導の個別化、学習の個性化、協働的な学びを推進するために、タブレットパソコンを活用した授業を毎日実施します。

【視点③に対する取組】

- ✓ 「特別の教科 道徳」において、いじめを題材にした授業を年3回、全学級実施します。
- ✓ 何より充実して楽しい学校生活が不登校の防止策になることから、学級経営、学校行事等をよりよい取組になるよう改善します。
- ✓ いじめ・不登校防止対策委員会で未然防止、効果的な初期対応に努め、状況に応じて、適宜ケース会議を実施するとともに、関係諸機関との綿密な連携を図ります。